



2022年

みやま

第287号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/>



平川病院ホームページをリニューアルしました

院長 平川 淳一

ホームページを見て、来院される患者さんの増加に伴い、ホームページをリニューアルしました。今回の目玉は、ブログ機能を載せたことです。現在、新型コロナウイルス感染症のため、直接の面会は危篤など特別な状況の場合のみで、原則的には面会禁止になっています。ご入院されている患者さんのご家族は、今日は何をしているのかとご心配になっておられると推察します。そこで、なるべく病棟の様子が見えるように、または、今日は何を召し上がったのかわかるように、日々の日常を写真と一言という感じでブログにしてみたらどうかという発想で考えました。まだ、始めただけで見るところはあまりありませんが、徐々に増やしていきます。どうか、楽しみにしていただきたいと思います。



【表紙】 院長挨拶 【P2】 地域生活支援室より 【P3】 リハビリテーション科から
 【P4】 3回目新型コロナウイルスワクチン接種後 副反応アンケート結果について
 【P5】 こころの扉 【P6】 平川病院における『新型コロナウイルス感染症対策ガイド』改訂にあたり

訪問看護業務へ異動になり考えたこと

地域生活支援室より

地域生活支援科 作業療法士 田倉 千春

昨年10月にデイケアから訪問看護業務へ異動になり半年程経ちました。訪問看護にて患者様の支援をする中で、他病院での精神科作業療法の経験を思い出すことがあります。どちらも個別対応が主という共通点があるからかもしれません。その当時はパラレルOT(集団で場を共有しているがそれぞれ個別の活動を行うOT)を、患者様の自主性を高めることを重視して実施していました。例えば作業に必要な物を患者様自身で準備・片付けが出来るように室内に配置する、作業を覚えたと判断した後はミスをして指摘せず試行錯誤取り組んでもらう、現実検討が出来るようになってきた方は自分で作業を選び、寸法、材料、技法など全て自分で決め進める、困った場合のみ作業療法士に援助を求める…という風でした。

平川病院でデイケア業務に就いてからは、集団の中でこそ引き出される自主性があると感じました。日々の当番や院外レクリエーション時のリーダーは、全体の動きを見て率先して他メンバーに必要な声掛けをする、SSTや当事者ミーティングでは、他メンバーの困り事に耳を傾け共感し他メンバーの刺激を受けてステップアップする、というように。

そのような経験を訪問看護でも活かせればと考えましたが実際は難しいです。患者様の生活の場に直接入るためか自主性どころか、

つい管理するような支援をしてしまったり、引きこもりがちの方の自主性をどう考えて良いのか…と悩んだり、デイケアのように集団の力を借りることも出来ない…など課題は沢山あります。

自主性を重視とは言うものの改めて自主性って何だろうと調べてみると、自主性とは自ら率先して行動することです。同じような言葉に主体性という言葉がありますが、主体性は周りの意見に頼らず自分で考え行動すること、また自分の選択・行動によってもたらされる結果に責任を持つという意味があります。自分で考え選択し行動することの多い地域生活を送る訪問看護利用者様には主体性の方が重要と感じます。夢や希望を持ち主体的に地域生活を送ることはリカバリー概念にありWRAP(元気回復行動プラン)にも取り入れられています。そこで訪問看護では現在WRAPなどの取り組みを計画中です。



訪問看護利用者様が製作した作品

入職して1年を振り返って

リハビリテーション科から

リハビリテーション科 理学療法士 荻野 愛梨

リハビリテーション科で理学療法士として勤務している荻野愛梨と申します。

早いもので、入職してちょうど1年が経とうとしています。正直言うと、理学療法士として自分は成長できているのか、ただ日にちだけが過ぎてしまっていないか心配になることがあります。また、多職種の方々と自分の意見を持って直接話しをする機会がとても増え、その中で自分の理学療法士としての責任を改めて感じています。と同時にその分やりがいも感じております！

平川病院のリハビリテーション科は、スタッフ間でその日の患者様の様子や状態を情報共有し合う等のコミュニケーションが活発に行われており、全体的に活気があります。

専門的な知識や治療手技を科内勉強会として共有したり、科内だけではなく他部署へ向けての院内活動としてトランスファー指導を行ったりと患者様の身体機能向上のために向け、自己研鑽を進んで行う職員が多くいます。

また、私たち新人に対しての指導も充実し

ており、臨床のなかで出た疑問点やわからないことは、先輩方が様々な視点から分かりやすくアドバイスを与えてくれます。特に当院は、他の病院と比較して臨床期間が長いベテランのセラピストの方が多くいる為、先輩方の経験を通じた具体的な臨床の話が聞けて教科書では学べないことをたくさん教えて頂いています。そして、「今悩んでいることはある？」と気にかけてくださり自分の意見が伝えやすく、とても相談しやすい環境にあります。

2年目となる今年は、知識量や治療手技がまだまだ未熟であるため、それに係る知識を深められるように励みたいと思います。そして、私もそんな先輩方のように個性を引き立たせ日々成長していける理学療法士になれるよう頑張りたいと思います。



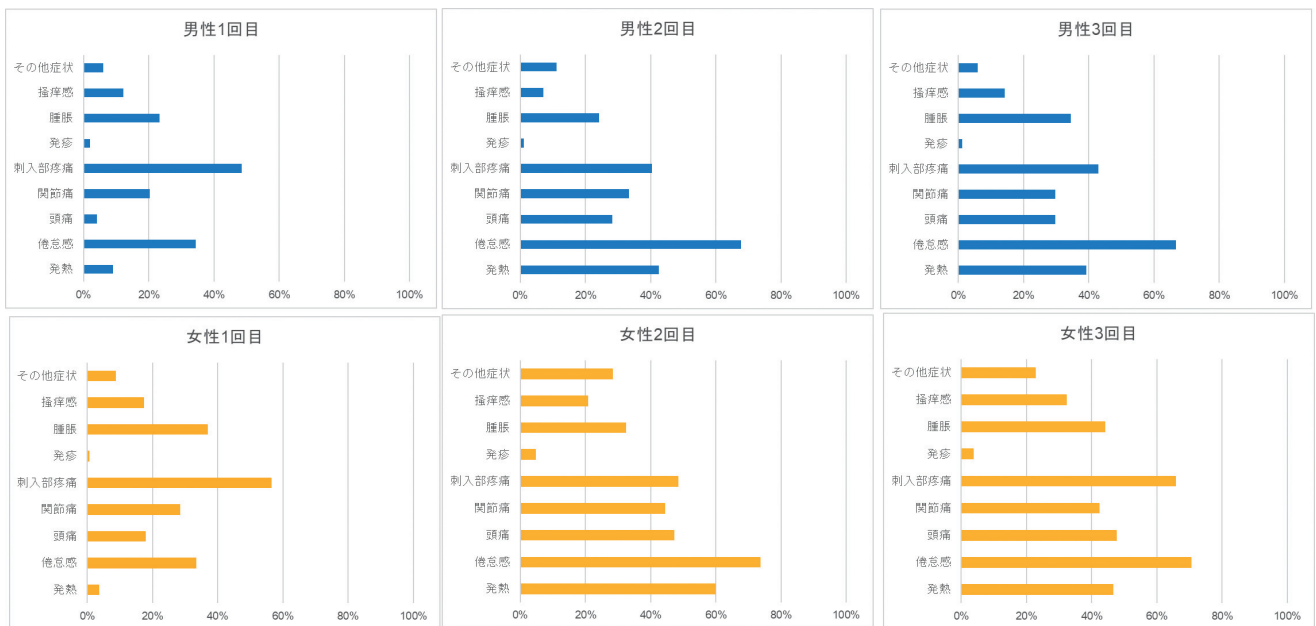
先輩方のような PT を
目指して
日々頑張ってます！

3回目新型コロナウイルスワクチン接種後 副反応アンケート結果について

医療の質向上促進委員会
南3病棟 師長 高木 路子

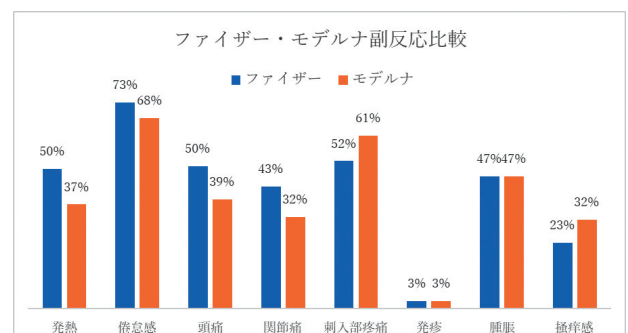
当院では昨年未と新年に職員の3回目ワクチン接種を院内で実施しました。1回目2回目はファイザー社製を使用、3回目は副反応を考慮して男女共に40歳以下はファイザー社製、40歳以上はモデルナ社製と分けて接種を行いました。(ファイザー社製45%、モデルナ社製55%)今回、3回のワクチン接種による男女別副反応アンケート結果と3回目のファイザー・モデルナ副反応比較結果を報告したいと思います。

図1. 3回のワクチン接種による男女別副反応アンケート結果



報道でもありましたが、男女共に2回目3回目の副反応は全体的に増えています。2回目3回目の優位差はありませんでした。男女共に半数近く発熱しているため、ワクチン接種時は解熱鎮痛剤が必要であると思います。3回目接種のファイザー社製とモデルナ社製の比較では、全体的に有意差はありませんでした。モデルナアームという言葉が出回り大きく腫れあがった腕がテレビで放送されていましたが、腫脹の発生割合は47%と同じでした。モデルナ社製は当院でも初めてであり副反応への不安な声が聞かれましたが、刺入部の疼痛が若干モデルナ社製に多く発生していて腕が上がらないという声があるため、利き手と反対に接種することをお勧めします。今後の接種に参考になれば幸いです。当院では3回目接種率98%、もともとアレルギー体質以外の職員は接種している状況で、今まで入院患者様の陽性者はいません。まだまだ新型コロナウイルスが蔓延している状況であり、今後も当院ではワクチン接種推奨と感染対策に力を入れていきたいと思っています。

図2. 3回目ファイザー・モデルナ副反応比較結果



こころの扉 その213 ～発想力を身につけるには～

心理療法科 公認心理師 山崎 恵莉菜

私はTVっ子なのですが、お気に入りのドラマが最終回を迎えると、ハイエナのように動画サイトで別のドラマを漁ります。この冬クールでは、菅田将暉さんが出ていた月9ドラマにハマっていました。主人公は大学で心理学を学ぶ男子学生で、モジャモジャ頭でカレー好き、マイペースで掴みどころがない人物です。知識が豊富で、観察力や発想力に長けており、人が考えてもみなかった視点から話を展開していきます。そして雑談の中で人の心を溶かし、事件の真相まで解明していきます。雑談だけで人の心を楽にして問題解決までするなんて、そんな夢みたいな才能、公認心理師の立場からしたら羨ましい限りです。せめて発想力だけでも頂戴したい、そんな思いで調べてみました。

人の思考は拡散的思考と収束的思考に分類されます。拡散的思考は多方向へと考えを巡

らせて新しいアイデアを生み出す思考方法で、収束的思考はすでにある情報を元に、1つの正しい答えへ辿り着く思考方法です。普段は収束的思考を用いる機会ばかりなので、知らず知らずのうちに型にはまった考え方となり、拡散的思考への切り替えがうまくできなくなるのです。

拡散的思考を鍛える方法としては、まずブレインストーミング法があります。そのアイデアが適切かという判断は置いといて、とにかく思いつくままにアイデアを挙げていきます。アイデアが出尽くしたところで評価の段階に移り、実際に使えそうなアイデアを絞り込んでいきます。2つ目はKJ法と呼ばれるもので、出てきたアイデアを大まかに分類して、図式化しながら整理していく方法です。目に見える形で問題の構造や相互関係が明らかになるので新しい発想や発見に繋がりがやすくなります。

また、収束的思考から拡散的思考への切り替えをスムーズにするためには、頭を休めることが効果的です。考えが行き詰まったときに、一眠りしたり、掃除したり、散歩したりなど、別の活動をしている間にひらめくという体験はないですか？これは孵化効果と呼ばれていて、休憩によって収束的思考の回路から拡散的思考の回路へと切り替えが成功したことを意味します。

現実には主人公のような天才になれるわけがないので、地道に取り組めることからやるしかないですね。

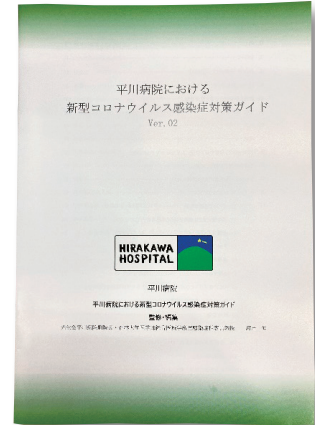


平川病院における『新型コロナウイルス感染症対策ガイド』改訂にあたり

院内感染対策委員会
薬剤科 科長 大塚 晃弘

新型コロナが発生してはや3年、その間様々な種類のコロナウイルス株が代わる代わる流行してきました。当院でも変化に対応すべく、2021年に『平川病院における新型コロナウイルス感染症対策ガイドVer.01』を作成しました。この頃は重症化が問題となったデルタ株が猛威を奮い、入院患者さんへの感染を防ぐために細心の注意を払って参りました。そして現在、重症化よりも感染力の強さが問題となっているオミクロン株が主流となっています。この株も、最近ではBA1からBA2に置き換わるなど、根本的な感染対策は変わらないものの、一部の対策に柔軟性が求められています。病院の全職員にどのような対策が必要か周知するためにも、このガイドは必需品とも言える存在となっています。

今回はVer.02を新たに策定し、全職員に配布を行い、新人オリエンテーションでも使用しています。いつまで続くか分からないこの状況ですが、対策疲れにならないよう息の長い対策を行っております。



当ガイドは当院ホームページからダウンロードできます。こちらのQRコードからアクセスしてください。

当院は南多摩医療圏の地域拠点型認知症疾患医療センターです

東京都では、平成24年に指定された「地域拠点型認知症疾患医療センター」12カ所（当院含む）と平成29年11月迄に指定されている「地域連携型認知症疾患医療センター」40カ所、合わせて52カ所の医療機関において、認知症の人とその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めています。

認知症に関するご質問がありましたら、各地域のセンターまでお問い合わせ下さい。尚、センター指定状況や役割の詳細等については、東京都公式サイト『とうきょう認知症ナビ』でご確認いただけます。

とうきょう認知症ナビ

検索

「みやま」3月号（令和4年3月15日発行）5ページの記事に誤りがありました。

本文10行目

誤) カットオフ値 250000U/mL

正) カットオフ値 0.8U/mL

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

編集後記

3月22日に出された「電力需給逼迫（ひっばく）警報」は、電気が止まった時に実際どうするか我が家でも考えるきっかけとなった。電気が止まって暖を取るには・・・都市ガスは使えるので、ガスコンロにガストーブは付く。石油ストーブ（ファンヒーターは不可）、カセットボンベのストーブもOKか。地震でガス管も破壊されれば、太陽光発電、電気自動車、ポータブル発電機での電気の供給は可能かと。今年は？冬の寒さから一気に初夏の暖かさとなり、桜が散って新緑の季節に・・・春が感じられないのも異常気象だろうか。

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

